



GoTo きいばす

Vol.26

令和4年12月23日発行

○エネルギー工作教室
 ステンドグラス風キャンドルライト作り
 1/14(土) 10時~(各20分)先着50名
 キラキラスライム作り
 1/15(日) 10時~(各10分)先着100名

1月の予定

○第3回エネルギー教室
 1/21(土) 13時30分~15時

○ピリ・パチくんでほら不思議(静電気体験)
 1/28(土) 10時.13時30分(各45分)



- 11月来館者数 666人
(累計 105,996人)
- 10月発電電力量 9,065kWh
- 10月使用電力量 6,449kWh



注) 使用電力量には電力会社から購入した分も含まれています。



出力100kW (1基50kW)

一般家庭で使用する電力量
300kWh/月として、約30軒分の
電力量を発電しました。



手回し発電機を各電源に見立てて同時同量を学ぶ様子

8日に高志中学校1年生49名
 が探求学習で訪れました。電力
 供給の同時同量の仕組みを体験
 をとおして学びました。



体験プログラム「エネルギー世界地図」

11月のトピック
 2日に福井市順化小学校6年
 生22名が修学旅行で訪れました。
 化石燃料の産出国や消費国の順
 位などを学びました。



11月のトピック

このプログラムでは私たちの
 食卓を支えるため、このように
 国内外の多くの産業・人々が関
 わり、それぞれの部門でエネ
 ルギーが使われていることを学習
 します。
 そして、省エネや二酸化炭素
 排出削減等に関して、多様な視
 点で考えることの大切さを学び
 ます。



イチゴの旬は春だが、需要の多い冬には、ビニールハウスで温室栽培されている。

現代の食卓には、旬に関わり
 なく国内外の多様な食材が並び
 ます。それらは、化学肥料の使
 用、温室栽培や養殖、冷凍輸送
 などに支えられています。



体験
プログラム



スタート地点で体重を入力し、5m先のゴールまで走るとエネルギー量が表示される(運動エネルギー測定体験)

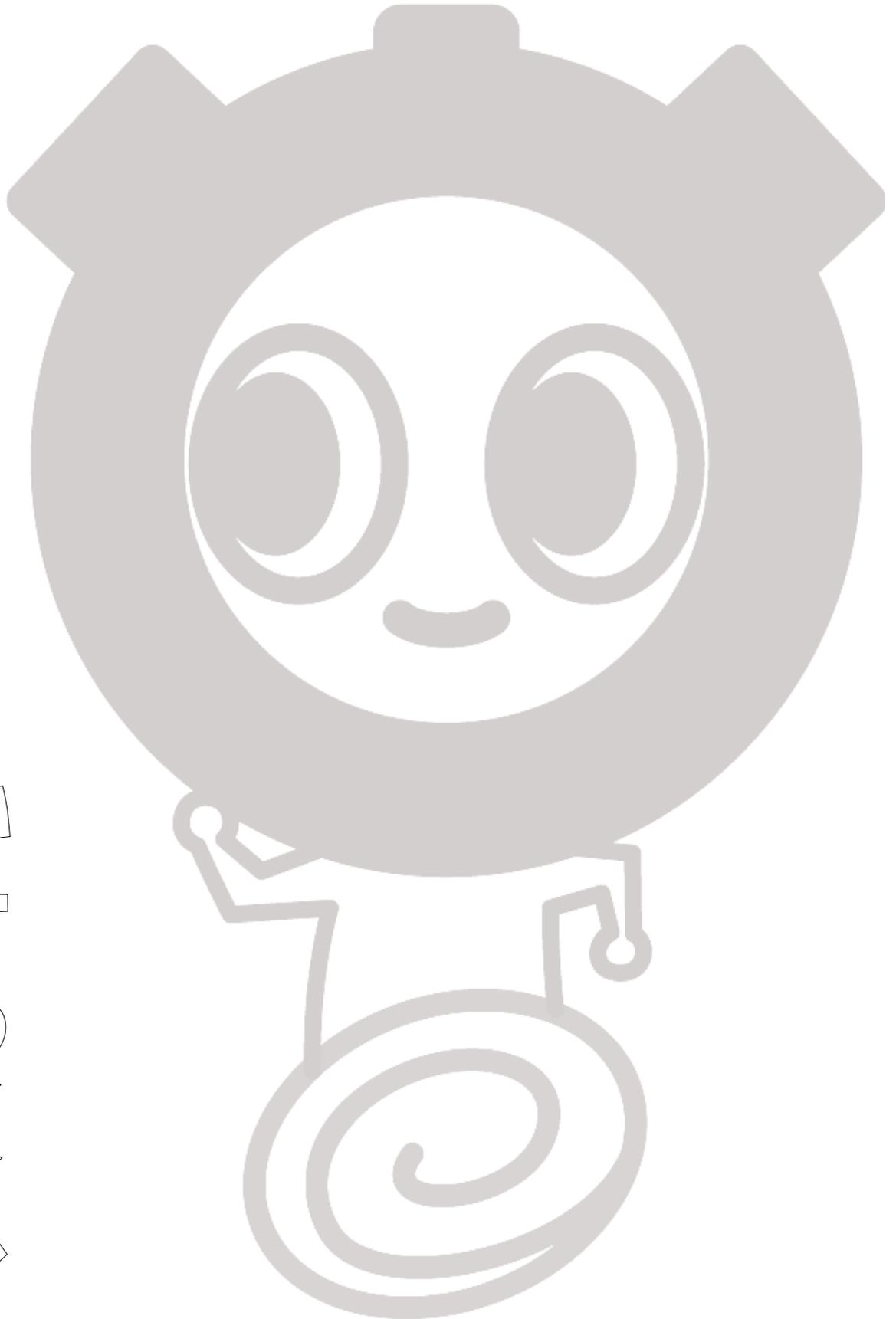
きいばすでは人が走った時
 (運動)のエネルギーを測定でき
 る体験装置があるんだ。
 運動のエネルギーはスピードが
 速くなると急激に大きくなる(速度
 の2乗に比例)し、重さが増しても
 大きくなる(質量に比例)んだ。
 この体験は、自動車や船、飛行
 機など重いものを輸送するために
 多くのエネルギーが使われている
 ことを実感するためのものなんだ。
 2050年に二酸化炭素の排出
 量を実質ゼロにするには、自動車
 やトラックが使うエネルギーをす
 べてCO2フリーの電気や水素な
 どにしなければならぬといわれ
 ているんだ。
 このことについて詳しく知りた
 くなったらきいばすへGO!



運動のエネルギー



きいぱすキャラクターぬりえ



かけるくん

ストップウォッチをモチーフにした「かけるくん」。遊びに来た子どもたちと一緒に、元気に走り回ります。